



## 2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月6日

上場会社名 ソレキア株式会社

上場取引所 東

コード番号 9867 URL <https://www.solekia.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 義和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務部長 (氏名) 宮崎 雅司

TEL 03-3732-1132

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	21,456	15.6	1,470	118.6	1,489	113.8	964	111.5
2025年3月期第3四半期	18,564	5.8	672	4.6	696	4.1	455	4.8

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,092百万円 (134.0%) 2025年3月期第3四半期 466百万円 ( 5.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	1,116.03	
2025年3月期第3四半期	527.57	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	22,863	12,146	53.1
2025年3月期	22,275	11,110	49.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 12,146百万円 2025年3月期 11,110百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期				65.00	65.00
2026年3月期					
2026年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2025年3月期期末配当金の内訳 普通配当 50円00銭 特別配当 15円00銭

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	29,100	3.8	1,910	10.6	1,910	9.5	1,200	1,388.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期3Q	865,301 株	2025年3月期	865,301 株
------------	-----------	----------	-----------

期末自己株式数

2026年3月期3Q	1,369 株	2025年3月期	1,262 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期3Q	863,973 株	2025年3月期3Q	864,066 株
------------	-----------	------------	-----------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国新政権の通商政策に伴う輸出環境の不透明感や住宅投資の弱含みが一部でみられたものの、企業収益は高水準を維持し、設備投資もデジタル化や省力化を目的とした需要により増加基調にありました。また、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要を背景とした内需の支えもあり、景気は緩やかな回復が続きました。一方、原材料や物価の高騰に加え、わが国の金融政策の転換による影響や米国の関税政策による貿易摩擦の激化、ウクライナ情勢や中東における紛争の膠着化など、景気の先行きの不確実性については引き続き注視が必要です。

世界経済は、米国の関税政策がグローバルなサプライチェーンに及ぼす影響や地政学リスクの長期化、金融政策の動向等を背景とする減速のリスクも懸念されます。

I Tサービス業界におきましては、企業の新たな価値を生み出し、事業競争力強化を目的としたD X（デジタルトランスフォーメーション）への期待と需要は高い水準で拡大傾向にあります。

I o T（モノのインターネット）やA I（人工知能）などのデジタル技術の進化とともに、システムのモダナイゼーション（近代化）需要、クラウドサービスや情報セキュリティ対策へのI T投資に加えて、W i n d o w s 1 0のサポート終了に伴うクライアント環境の更新需要などもあり、I T投資需要は総じて旺盛に推移しました。

このような経営環境のもと、当社グループの第3四半期連結累計期間の売上高は、I T投資需要の拡大とともに、W i n d o w s 1 0のサポート終了に伴う更新需要などにより、サーバなどの情報通信機器、システムエンジニアリングサービス、電子デバイスやフィールドサービスも増収となったことから、売上高は214億56百万円（前年同期比15.6%増）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加と採算性の向上により、営業利益は14億70百万円（前年同期比118.6%増）、経常利益は14億89百万円（前年同期比113.8%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億64百万円（前年同期比111.5%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

「首都圏」は、前年同期の大規模な業務システム端末商談の反動があったものの、サーバ等の情報通信機器、システムエンジニアリングサービスや電子デバイスが増収となったことから、売上高は107億84百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

損益面につきましては、売上構成の変化と採算性の向上により、営業利益は6億68百万円（前年同期比34.2%増）となりました。

「東日本」は、民需商談や自治体・文教・医療機関向け商談が増加したことにより、パソコン等の情報通信機器、フィールドサービスやシステムエンジニアリングサービスが増収となったことから、売上高は59億42百万円（前年同期比49.5%増）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加と販管費の減少により、営業利益は6億14百万円（前年同期比226.2%増）となりました。

「西日本」は、民需での基幹システム更新等の大型商談の獲得もあり、システムエンジニアリングサービス、パソコン等の情報通信機器や電子デバイスが増収となったことから、売上高は45億13百万円（前年同期比15.0%増）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加により、営業利益は3億円（前年同期比74.7%増）となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、5億87百万円増加し、228億63百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が26億52百万円、繰延税金資産が1億70百万円減少した一方、現金及び預金が12億4百万円、商品が7億39百万円、リース投資資産が6億91百万円、電子記録債権が2億55百万円、投資有価証券が2億9百万円、仕掛品が1億95百万円増加するなど、流動資産が5億48百万円、固定資産が38百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、4億48百万円減少し、107億16百万円となりました。その主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が8億50百万円、固定負債のリース債務が3億52百万円、流動負債のリース債務が3億39百万円、長期借入金が1億24百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が18億97百万円、未払法人税等が3億55百万円、賞与引当金が2億31百万円減少するなど、流動負債が9億5百万円減少、固定負債が4億57百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、10億35百万円増加し、121億46百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が9億8百万円、その他有価証券評価差額金が1億42百万円増加したことによる純資産の増加によるものであります。以上の結果、自己資本比率は53.1%（前連結会計年度末は49.9%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、業績は概ね予想どおりに推移しており、2025年11月7日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,447,493	11,651,792
受取手形及び売掛金	7,380,692	4,728,226
電子記録債権	413,394	669,279
リース投資資産	—	691,533
商品	1,476,301	2,216,285
仕掛品	80,655	276,519
その他	177,030	290,428
貸倒引当金	△988	△976
流動資産合計	19,974,578	20,523,089
固定資産		
有形固定資産	1,024,546	1,045,078
無形固定資産	19,714	18,241
投資その他の資産		
投資有価証券	596,453	805,729
関係会社株式	49,000	49,000
敷金及び保証金	378,202	360,817
繰延税金資産	177,112	6,358
その他	63,412	61,421
貸倒引当金	△7,369	△6,646
投資その他の資産合計	1,256,811	1,276,680
固定資産合計	2,301,072	2,340,001
資産合計	22,275,651	22,863,090
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,625,127	3,727,793
短期借入金	1,130,000	1,130,000
1年内返済予定の長期借入金	450,000	1,300,800
リース債務	—	339,107
未払法人税等	497,731	142,023
賞与引当金	327,600	95,700
役員賞与引当金	18,000	—
その他	1,125,333	1,532,753
流動負債合計	9,173,792	8,268,178
固定負債		
長期借入金	1,400,000	1,524,200
リース債務	—	352,425
役員退職慰労引当金	60,643	60,643
退職給付に係る負債	472,525	455,219
資産除去債務	57,782	56,067
固定負債合計	1,990,951	2,448,555
負債合計	11,164,743	10,716,733

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,293,007	2,293,007
資本剰余金	2,359,610	2,359,610
利益剰余金	6,245,329	7,153,386
自己株式	△4,832	△5,537
株主資本合計	10,893,114	11,800,467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	298,119	440,445
為替換算調整勘定	△80,326	△94,555
その他の包括利益累計額合計	217,793	345,889
純資産合計	11,110,907	12,146,356
負債純資産合計	22,275,651	22,863,090

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	18,564,942	21,456,042
売上原価	15,118,477	17,251,512
売上総利益	3,446,464	4,204,529
販売費及び一般管理費	2,773,470	2,733,672
営業利益	672,993	1,470,857
営業外収益		
受取配当金	10,082	11,385
為替差益	13,146	11,595
その他	19,295	26,980
営業外収益合計	42,524	49,960
営業外費用		
支払利息	17,608	29,622
その他	1,554	2,038
営業外費用合計	19,162	31,661
経常利益	696,355	1,489,156
特別損失		
投資有価証券評価損	1,323	—
特別損失合計	1,323	—
税金等調整前四半期純利益	695,031	1,489,156
法人税、住民税及び事業税	134,236	419,718
法人税等調整額	104,941	105,218
法人税等合計	239,177	524,936
四半期純利益	455,854	964,219
親会社株主に帰属する四半期純利益	455,854	964,219

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	455,854	964,219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,730	142,325
為替換算調整勘定	△10,684	△14,229
その他の包括利益合計	11,046	128,096
四半期包括利益	466,900	1,092,315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	466,900	1,092,315



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	43,423千円	61,392千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,609,482	3,974,599	3,923,922	18,508,005	56,936	18,564,942
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44,506	—	—	44,506	146,510	191,016
計	10,653,988	3,974,599	3,923,922	18,552,511	203,447	18,755,958
セグメント利益	497,881	188,430	172,168	858,481	20,701	879,183

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失（△）	金額
報告セグメント計	858,481
「その他」の区分の利益	20,701
セグメント間取引消去	318
全社費用（注）	△206,507
四半期連結損益計算書の営業利益	672,993

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,784,451	5,942,661	4,513,115	21,240,228	215,813	21,456,042
セグメント間の内部売上高 又は振替高	153,254	—	—	153,254	136,167	289,421
計	10,937,705	5,942,661	4,513,115	21,393,482	351,981	21,745,464
セグメント利益	668,017	614,745	300,738	1,583,501	19,726	1,603,228

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益又は損失（△）	金額
報告セグメント計	1,583,501
「その他」の区分の利益	19,726
セグメント間取引消去	304
全社費用（注）	△132,675
四半期連結損益計算書の営業利益	1,470,857

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。